



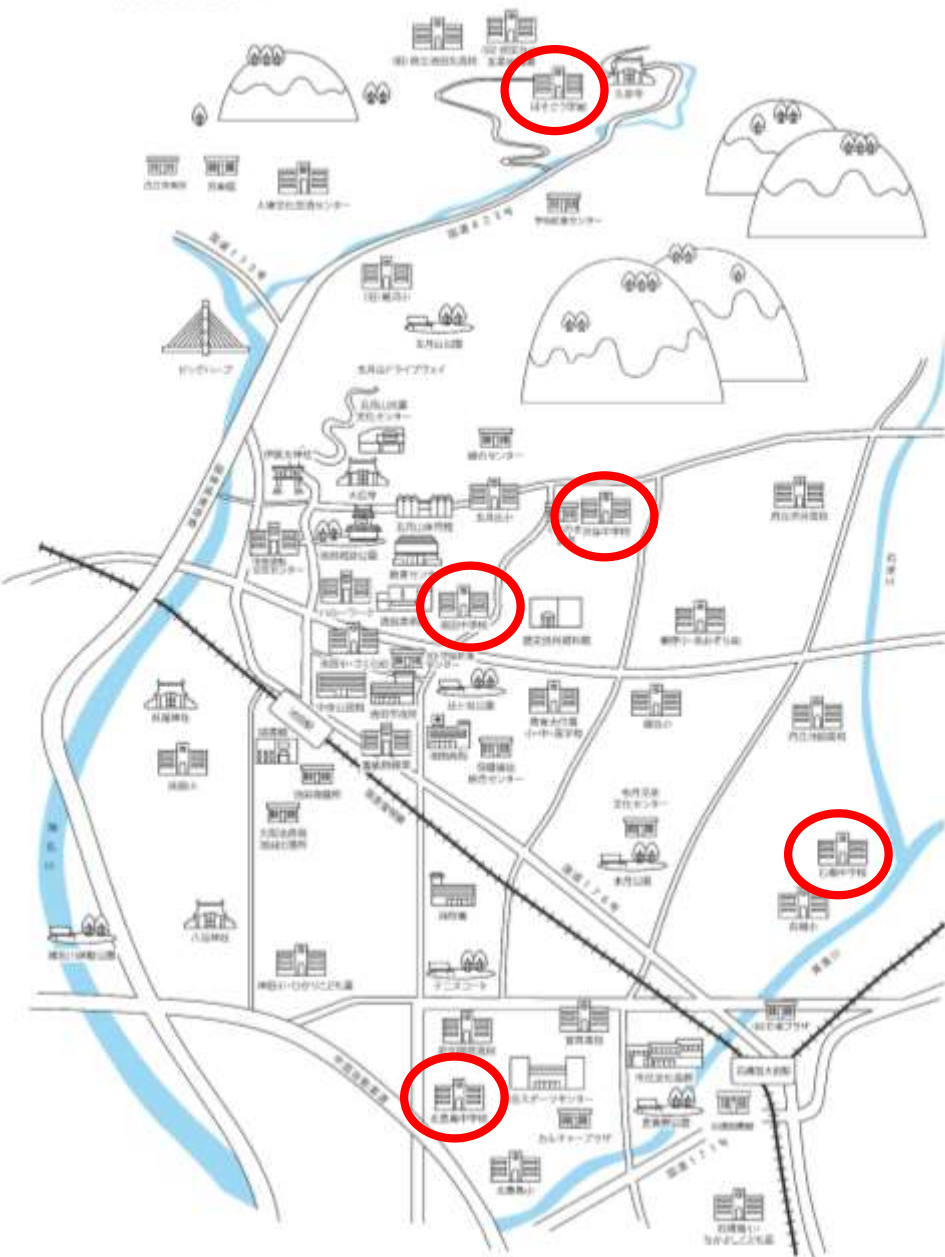
池田市の地域移行について

令和7年5月 池田市教育委員会



池田市の現況

= 教育施設等ガイドマップ =



市域面積 22.14km²
 地 勢 東西 3.82km 南北 10.28km
 人 口 102,568人(2025.1月現在)

令和7年4月現在

中学校名	在籍数	クラス数
池田	667人	19
渋谷	754人	20
北豊島	460人	13
石橋	426人	12
ほそごう(後)	167人	6
合計	2474人	70



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

そもそも部活動とは

②

国が示す「地域移行」について

③

池田市の現状と課題

④

池田市が目指す「地域移行」について



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

そもそも部活動とは

②

国が示す「地域移行」について

③

池田市の現状と課題

④

池田市が目指す「地域移行」について



部活動ってなに？

「生徒は全員加入しないといけないの？」

「学校にしたい部活動が無い・・・」

「1つの種目を3年続けるの？」

「会費は無料？」

部活動ってなに？

「学校の先生が教えてくれる」

「中学生になると部活動が忙しくなるみたい・・・」

「進路に影響するって聞いたけど・・・」

「厳しい部活があるらしいよ」

部活動に関して人によって捉え方が様々・・・



そもそも部活動とは

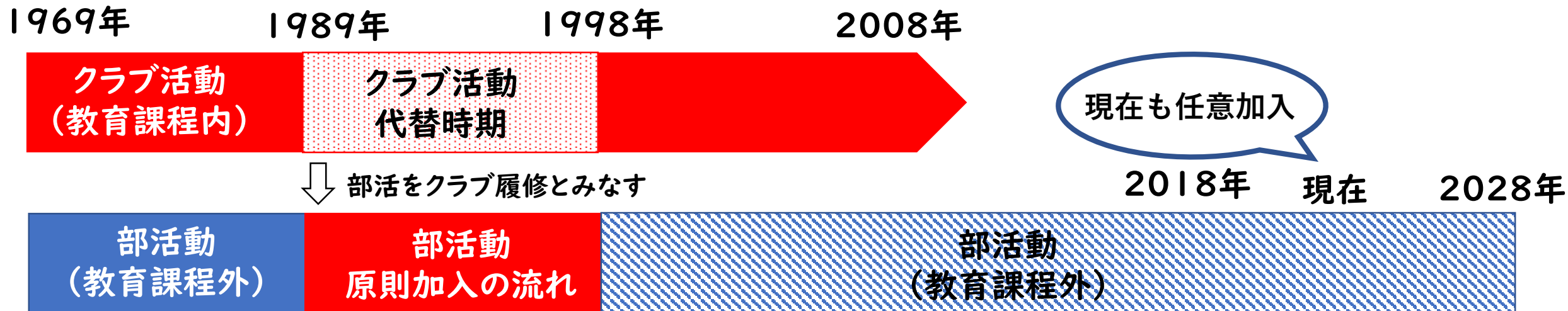
現在の部活動はどのように位置づけられているのか

●現在の学習指導要領より

部活動は**教育課程外**の活動であり、生徒の**自主性**に基づく活動

「教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする」(学習指導要領 27ページ)

●部活動の変遷について





そもそも部活動とは

現在の部活動はどのように位置づけられているのか

●各校の設置状況について

運動部	陸上	水泳	サッカー	柔道	剣道	卓球	男ソフト テニス	女ソフト テニス	野球	バド	男バレー	女バレー	男バスケ	女バスケ	ソフト ボール
池田	●		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
渋谷	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
北豊島	●	●	●					●	●	●		●	●	●	
石橋	●	●			●	●	●	●	●	●		●	●	●	
ほそごう			●		●	●		●	●	●				●	

文化部	美術	吹奏楽	家庭科	放送	演劇	科学 理科	技術 工作	箏曲
池田	●	●	●	●	●	●		
渋谷	●	●	●			●	●	●
北豊島	●	●					●	
石橋	●	●						
ほそごう	●	●						

約8割の生徒が
何らかの部活動に所属

参考：令和6年度部活動実態調査より

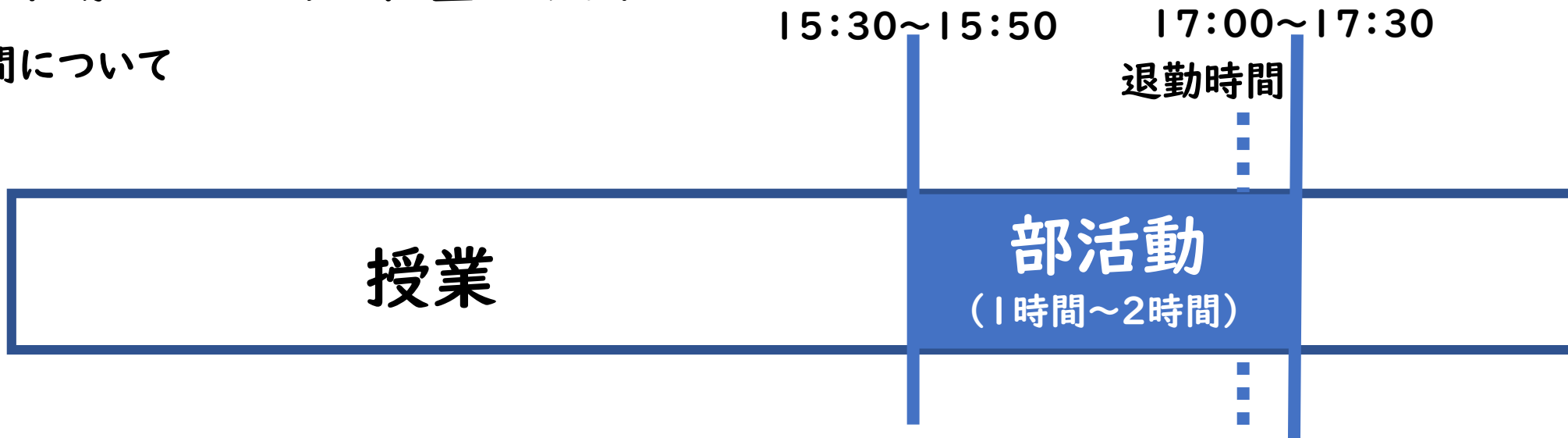


そもそも部活動とは

現在の部活動はどのように位置づけられているのか

●活動時間について

平日



休日



【部活動の在り方に関するガイドライン・方針(国・府・市がそれぞれ策定)】

- ・週当たり、平日1日以上・休日1以上の休養日を設ける=平日4回・休日1回
- ・平日は2時間・休日は3時間の活動を目安とする



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

そもそも部活動とは

②

国が示す「地域移行」について

③

池田市の現状と課題

④

池田市が目指す「地域移行」について

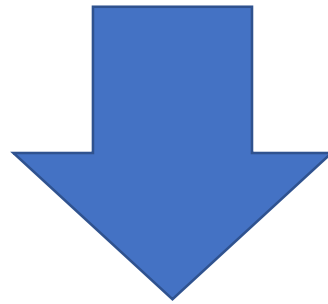


国が示す「地域移行」について

なぜ今、部活動の地域移行が議論されるのか・・・

●背景

- ・2010年代に入り教員の過重労働が社会問題として注目
- ・急速な少子化の進展
(全国：1986年時点の生徒数589万人→2020年時点の生徒数296万人)



文部科学省（スポーツ庁・文化庁）を中心に
部活動の在り方や教員の職務を位置づけしなおす



国が示す「地域移行」について

なぜ今、部活動の地域移行が議論されるのか・・・

●経過①

2017年6月 文科省から中央教育審議会へ学校における働き方改革について諮問

⇒学校や教員がすべき仕事の見直しを求める

2019年1月 中央教育審議会の答申

- ・部活動は学校の業務だが必ずしも教師の担う仕事ではないと分類
- ・文科省に外部人材の活用や地域単位への取り組みに移行することを求める
→文科省は「学校における働き方改革推進本部」を設置。具体の取り組みについて議論

2020年9月 文科省「第4回学校における働き方改革推進本部」議事

スポーツ庁通知「学校における働き方改革を踏まえた部活動改革について」

文化庁通知「学校における働き方改革を踏まえた部活動改革について」

- ・令和5年度以降に休日の部活動を段階的に移行することを明記



国が示す「地域移行」について

なぜ今、部活動の地域移行が議論されるのか・・・

●経過②

2021年10月 スポーツ庁「運動部活動の地域移行に関する検討会議」を発足

2022年2月 文化庁「文化部活動の地域移行に関する検討会議」を発足
部活動改革の目的／移行前の在り方（部活の改革）／移行の方法／地域での受け皿
人材について／施設について／大会の在り方／会費／保険／制度の見直し

2022年6月 文化庁・スポーツ庁へ「提言」を提出

・2023年から2025年までを改革推進期間と位置づけ、休日の地域移行
（可能な地域は平日の地域移行も）を進めていく

●スポーツ庁・文化庁の基本指針

- ・少子化が進む中で、子どもたちの文化・スポーツに親しむ機会を保障する
- ・自発的に参画し、「楽しさ」「喜び」を見いだせる活動に。部活動の意義を発展・新しい価値を創出する。
- ・地域で持続可能且つ多様な体験機会を確保していく（社会教育の範疇）



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

そもそも部活動とは

②

国が示す「地域移行」について

③

池田市の現状と課題

④

池田市が目指す「地域移行」について



池田市の 部活動が抱える課題

持続可能性

- ・子どもの数の減少＝学校間での差
- ・子どものニーズの多様化

働き方(人)

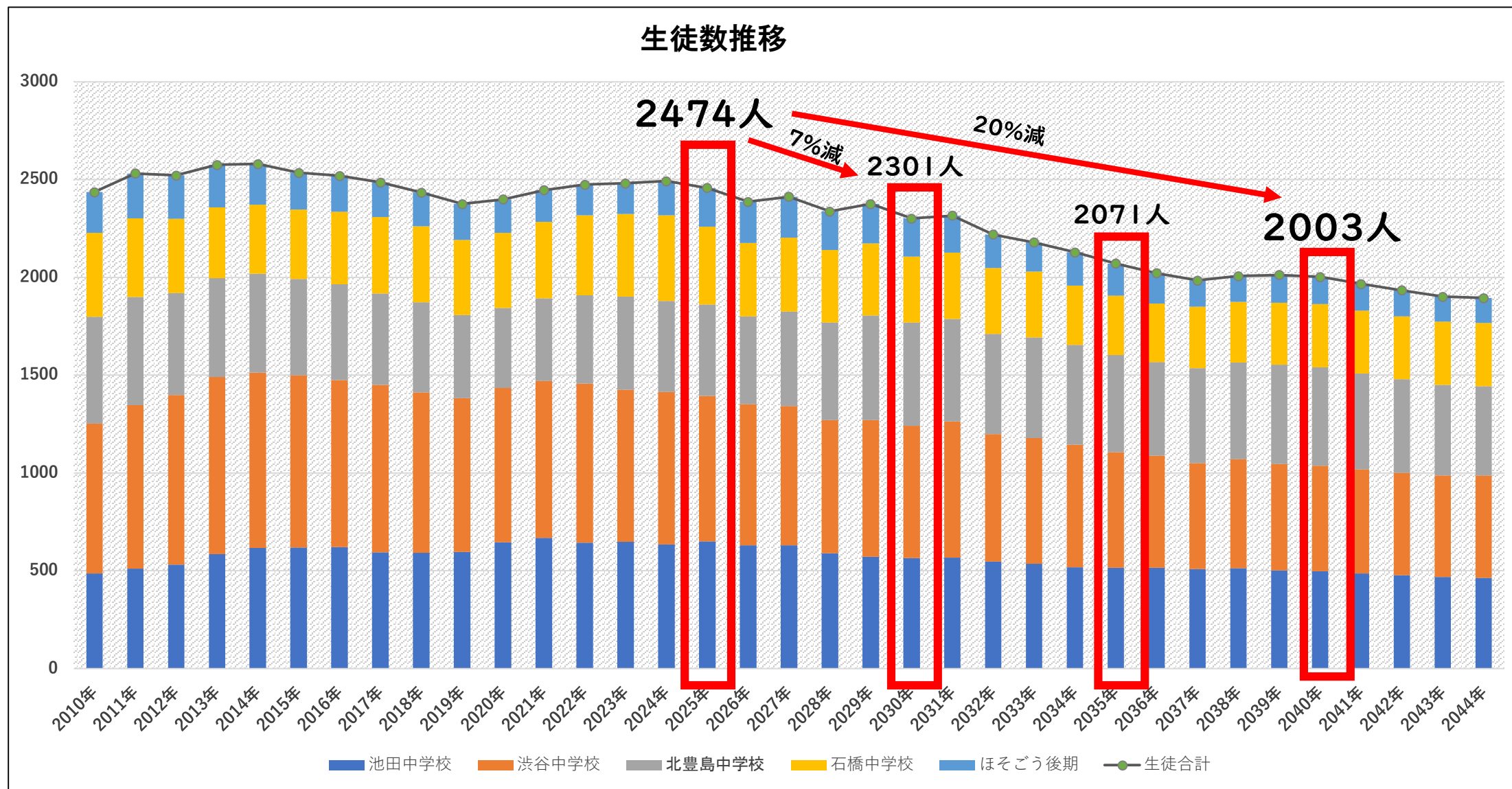
- ・長時間勤務の常態化
- ・経験のない文化・スポーツを指導する
(参考) 教員になりたい人の減少

財源

- ・外部人材を活用した場合
(参考) クラブ運営に必要な業務



池田市でも確実な少子化が見込まれる予想



※小学校在籍数・出生数などから算定



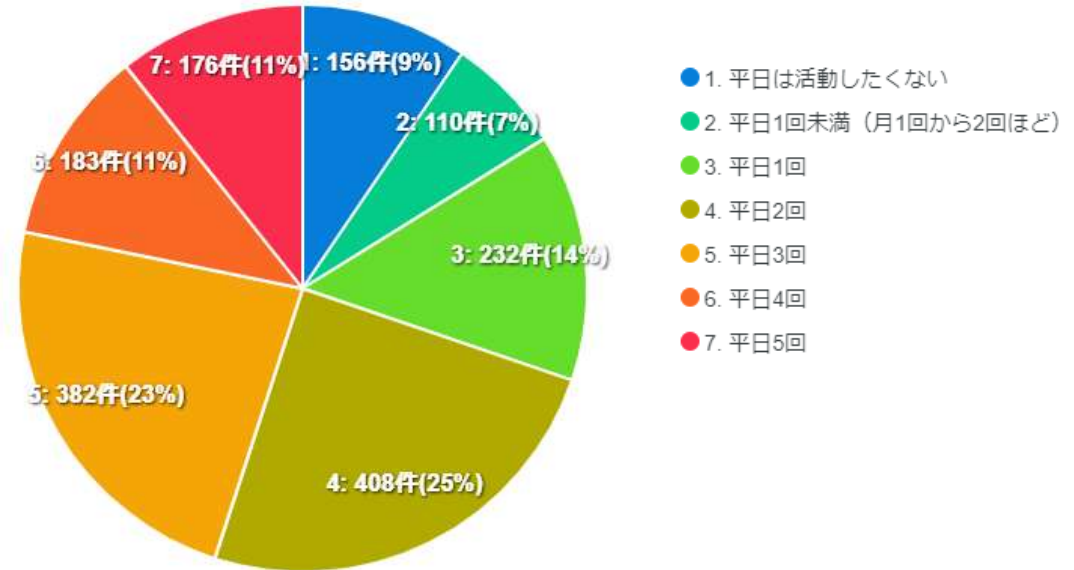
子どものニーズの多様化

Q: 中学生になったら取り組みたい文化・スポーツ
小学校4年生～6年生の1647人が回答

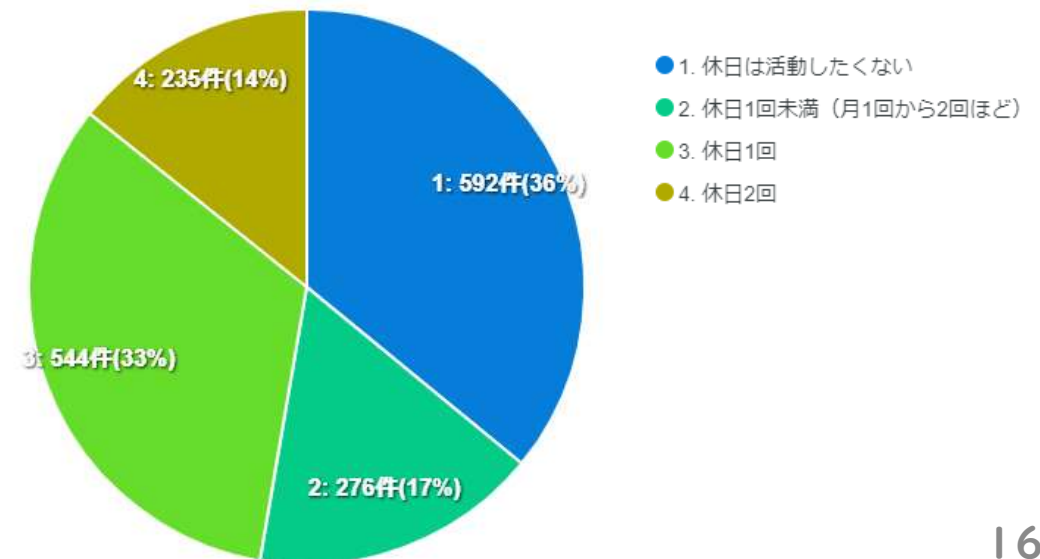
順	スポーツ編	文化編
1	バドミントン	英語(英会話)
2	水泳	ピアノ
3	バスケットボール	吹奏楽
4	サッカー	PC(プログラミング)
5	ダンス	工芸・工作
6	硬式テニス	美術
7	バレーボール	料理
8	卓球	漫画・アニメ

希望内容と頻度が異なっている

Q: 取り組みたい活動の取り組み頻度(平日編)



Q: 取り組みたい活動の取り組み頻度(休日編)



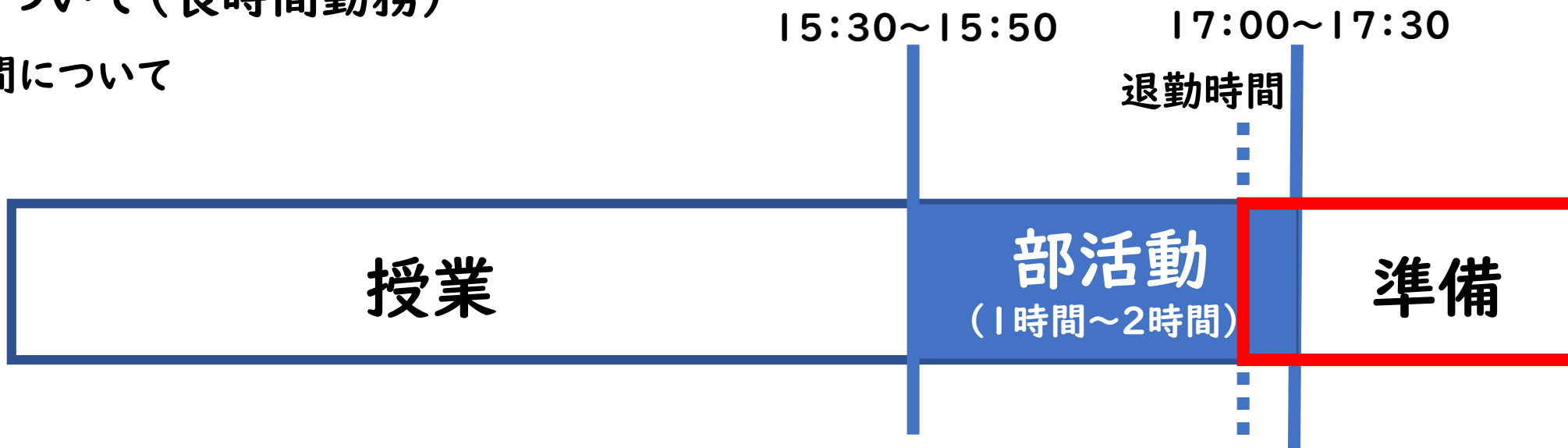


池田市の現状と課題

働き方について（長時間勤務）

●活動時間について

平日



休日



・  時間外勤務部分

そもそも部活動自体が時間外勤務を前提としている

働き方について（長時間勤務）

国指針：1か月45時間以内

(%)

月当たりの全体に対する 超過勤務者数の割合 (池田市)	2019年		2020年		2021年		2022年	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
80時間以上	5.2	19.9	2.8	15.3	2.7	14.6	1.3	12.4
45～80時間	28.0	33.3	27.2	33.4	28.2	35.2	21.8	32.1
45時間未満	66.8	46.8	69.9	51.3	69.1	50.3	76.9	55.5

参考：「【基本施策】第2次教育振興計画」46ページ

小学校教員と比べて中学校教員の長時間勤務が常態化
超過勤務分については基本的には無償

働き方について（経験したことのない種目の指導）

令和6年度	池田市全体	
	文化部	運動部
全体顧問数	46	199
内未経験	21	96
未経験割合	45.6%	48.2%

参考：令和6年度部活動実態調査より

半数に近い教員が携わったことのない種目を指導
異動により翌年度も同じ活動に携われる訳ではない

参考：大阪府豊能地区公立学校教員採用倍率推移

中学校	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
採用数 (人)	35	40	40	40	50
志願者数 (人)	325	335	294	276	263
採用倍率 (倍)	9.0	6.8	6.3	7.1	4.9

参考：大阪府豊能地区人事協議会HP
「令和6年度大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト選考結果概要」

教員の志願者数が急減⇔採用数は増加

※小学校も同様の傾向

財源について（外部人材を活用した場合）

	運動部	文化部	外部指導員数	平日	平日時間	休日	休日時間	指導単価	必要金額
池田	13	6	32人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	26,624,000円
渋谷	14	6	34人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	28,288,000円
北豊島	11	3	25人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	20,800,000円
石橋	11	2	24人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	19,968,000円
ほそごう	7	2	16人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	13,312,000円
※運動部の指導員は2名・文化部の指導員は1名で試算 ※休日は土日50日、長期休業30日で試算 ※指導員単価の1600円／時間については国・府の単価に準じるもの								合計	108,992,000円

参考：池田市議会 2022年9月28日 教育部長答弁内容に基づき作成

現行の部活動を外部人材で実施する場合、巨額の予算が必要
 ⇔ 平日15時～17時に従事できる人材は限られる

参考：部活動（クラブ）を運営していくためにどのような業務があるか

運営する人

- ・募集のための広報
- ・生徒募集&保険加入
- ・保護者連絡
- ・活動計画作成
- ・会場確保（支払い）
- ・資金管理（支出報告）
- ・指導者調整
- ・その他、運営業務

指導する人

- ・練習計画作成
- ・指導&監督
- ・大会引率
- ・参加者との意思疎通
- ・審判
- ・大会運営
- ・その他、指導業務

まとめ（現行部活動に対する池田市教育委員会の考え）

- ❗ 確実な少子化の見込み・ニーズの多様化
- ❗ 部活動（希望制）に伴う中学校教員の働き方の現実
- ❗ 現行規模での活動数を維持することが困難（予算面・人材面）

地域移行を検討していくにあたって、上記のような現実から
部活動自体をゼロから再設計する必要がある



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

そもそも部活動とは

②

国が示す「地域移行」について

③

池田市の現状と課題

④

池田市が目指す「地域移行」について



池田市が目指す「地域移行」について

具体的な移行計画

目標

令和10年度中を以て、部活動を完全に地域へ移行する
中学生は興味関心を抱く文化・スポーツクラブに主体的に参加する

- ！ 移行後は学校教育活動ではなく社会教育活動
- ！ 校区に関係なく参加できる活動へ
- ！ 活動については受益者負担（会費制）をお願い

※支援の在り方については要検討



池田市が目指す「地域移行」について

地域移行に期待されるもの（効果）

生徒

- ・校区に関係なく取り組みたい活動に参加できます
（小学生からの継続・魅力的な指導者・新たな種目）
- ・専門的な指導が受けられます
- ・自分の目標に応じた活動を選べます
- ・学校外での交友関係、活動場所ができます



池田市が目指す「地域移行」について

地域移行に期待されるもの（効果）

学校教育

- ・教員の負担軽減
→授業や行事・生徒指導など本業へ還元

社会教育

- ・文化・スポーツ環境の充実
- ・専門指導を受けられる保障（安全）



池田市が目指す「地域移行」について

部活動との比較①

	部活動	(新) 地域クラブ
主体	学校	地域の様々なクラブ
場所	学校	学校・公共施設・民間施設
活動日数	週5日が一般的 (平日4日・休日1日)	週1日～4日程度 クラブがレベルやニーズに応じて設定
活動時間	放課後～17時頃	17時以降
参加者	当該校の生徒のみ	市内の生徒 (国立・私立可、市外も定員まで検討)
指導者	教員	地域指導者 (教員の兼職兼業も可)
会費	基本無料	会費制
専門性	△	◎



池田市が目指す「地域移行」について

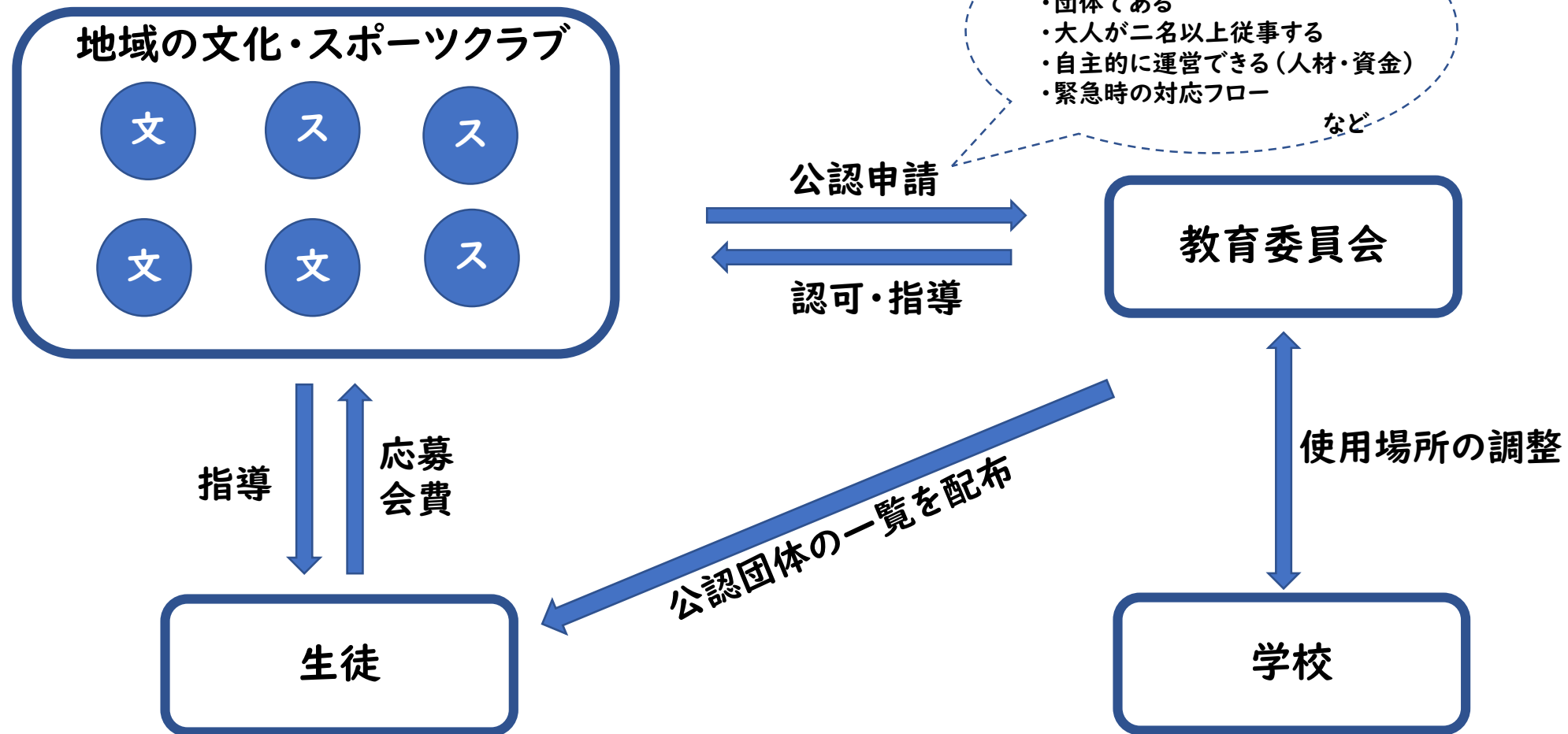
部活動との比較②

	部活動	(新) 地域クラブ
大会	中体連等	出場する大会はそれぞれ設定
保険	日本スポーツ振興センター 災害共済	スポーツ安全保険 ※「団体活動」に適用可能
移動手段	徒歩	徒歩・自転車や送迎など
引退	おおよそ3年生の夏季	個人や各家庭で判断
その他	—	・必ず大人が活動に従事する ・会則に準じた運営 ・会計報告の徹底



池田市が目指す「地域移行」について

地域移行した後の実施イメージ



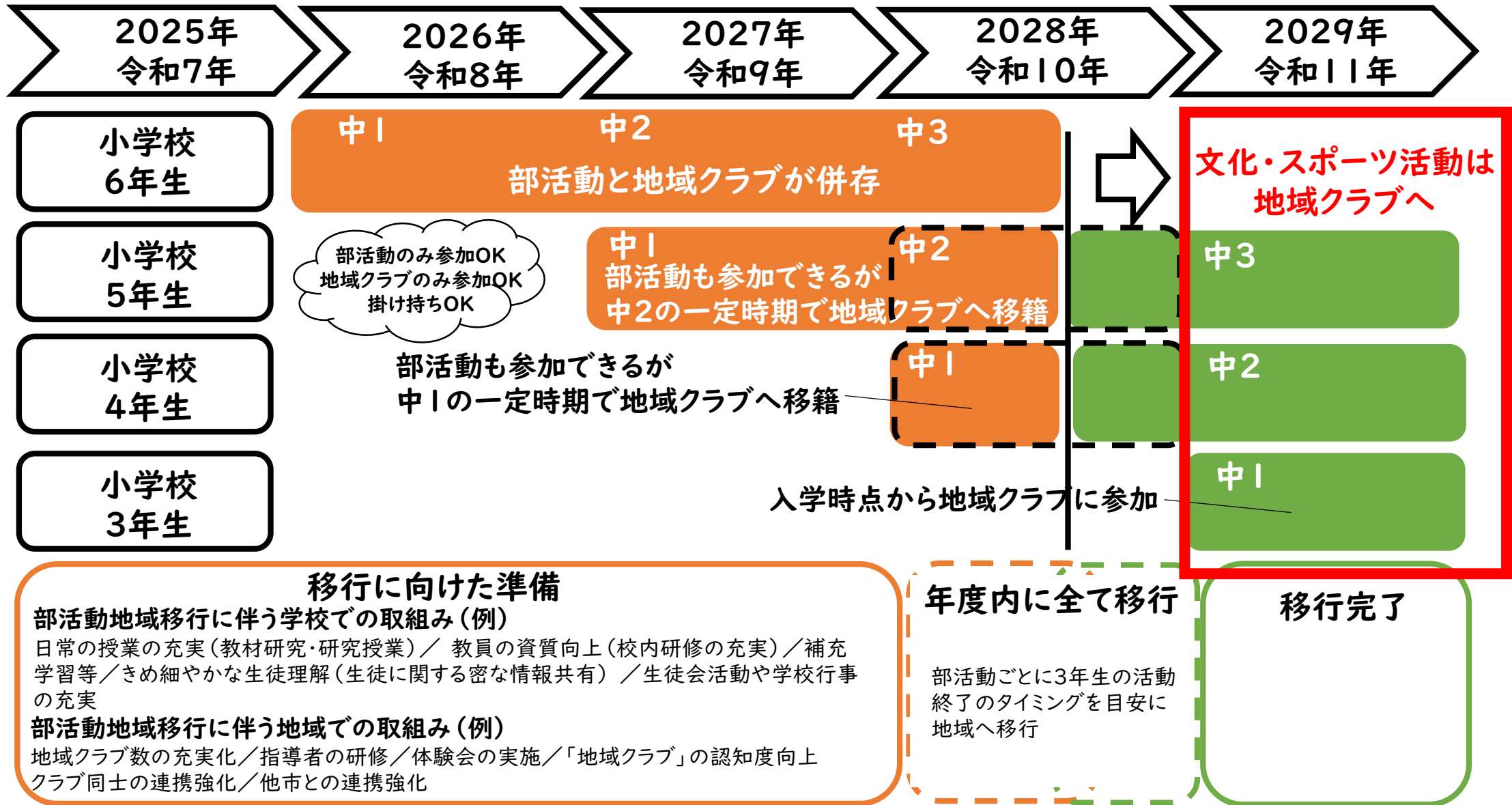
地域クラブを市教委で公認し、一覧を生徒に配布

生徒は一覧より興味のある活動に参加（一覧にないクラブ・市外クラブの参加もOK）



池田市が目指す「地域移行」について

地域移行スケジュール





池田市が目指す「地域移行」について

まとめ（地域移行に対する池田市教育委員会の考え方）

- ！ 部活動の枠ではなく、社会教育領域で新たな環境の構築
- ！ 会費制での運営
- ！ 公認制による専門指導の保障、質の保障

働き方の改善に伴う授業や生徒指導等、学校教育の質の向上
専門指導や希望する活動ができる社会教育の質の向上